

学部名	生活環境学部
学科名	住環境学科

生活環境学部のディプロマポリシー	生活環境学部のカリキュラムポリシー	生活環境学部のアドミッションポリシー
<p>【学部の教育理念】 奈良女子大学生活環境学部は、生活に根ざした理論と実践の総合的学知を提供し、主体的でリーダーシップを発揮できる人材を育成することを目指しています。教育内容は、生活の根幹である衣食住を基盤として、心身の健康・情報・文化などの多様な分野にまで及びます。学際的な教育を通じて、生活に関する専門的知見と生活の質の向上に向けた新しい発見と創造を生み出す力を持ち、個人、家庭そして社会の生活を主体的に創造できる能力を持った人材を育成します。</p>	<p>【生活環境学部のカリキュラム構造】 生活環境学部のカリキュラムは教養教育科目と専門教育科目から構成されています。教養教育科目ではグローバルな視野を培う外国語科目、健康な生活の基礎づくりとなる保健体育科目が必修となっているほか、幅広い教養と創造性を身につけるための教養科目を提供しています。専門教育科目では初年次科目として生活環境学の全体像や各学科・コースで学ぶ内容を概論的に理解するための学部共通科目と学科共通科目、専門的知見を修得するための科目として学科専門科目とコース専門科目を開講しています。各学科・コースとも生活環境学部における学修の総括として、卒業研究を通じて、自身の専門分野に関する研究を深め、成果発表することを卒業のための必修要件としています。また、大学院に進学して更に研究を深めたいという意欲のある学生に対しては大学院開講科目の先取り履修を認める6年一貫教育プログラムも提供しています。</p>	<p>【生活環境学部の教育理念】 生活環境学部は、生活に根ざした理論と実践の総合的学知を提供し、主体的でリーダーシップを発揮できる人材の育成をはかることを目指しています。教育内容は、身体や性にはじまって、衣食住に関わるあらゆる問題に及び、さらには地域や世界の環境問題までも射程に収めています。このような幅広い教育を提供するために、生活環境学部は文理融合型学部として、食物養学科・住環境学科・情報環境学科・心身健康学科・生活文化学科の5学科から構成されています。学科の性格が多様であることに伴い、教育方法もまた理論・比較・調査・実験と多岐にわたります。しかし、生活環境学の総合的教育という学部理念に即して、つねに生活者の視点を失わないことを重視しています。生活者の視点とは、利用者・消費者といった立場からの批判と改善の視点であり、わたしたちの生活の質の向上に向けた新しい発見と創造を生み出す視点です。生活環境学部は、各学科の教育目的に応じて専門性を高めるだけでなく、学際を超えた学際的な教育を通じ、領域横断的でグローバルな視野をもって問題解決をはかる人材を養成したいと考えています。</p>
<p>【身につけるべき「資質・能力」】 ・生活環境に関わる専門的知見と幅広い教養を持ち、生活を主体的に創造する能力。 ・生活の諸問題について生活者の視点より分析理解し、その解決に積極的に挑戦する能力。 ・自律的な行動と判断を行い、他者と柔軟なコミュニケーションを築き、個人、家庭そして社会の生活をリードできる能力。</p>	<p>【教育の内容と方法】 生活環境学部の教育内容は生活の根幹である衣食住を基盤として、心身の健康・情報・文化などの多様な分野にまで及びます。幅広い教育内容を反映して、教育方法もまた理論・比較・調査・実験と多岐にわたります。多岐で多様な教育を通じ、専門性を高めるだけでなく、領域横断的でグローバルな視野をもって主体的に生活の問題解決をはかる人材を養成したいと考えています。</p>	<p>【生活環境学部が求める学生像】 上記の教育理念にもとづき、生活環境学部は次のような資質及び意欲をもつ学生を求めます。 (1) 幅広い関心と各学科が必要とする基礎的学力をもつ。 (2) 生活者の視点をもつリーダーあるいは主体的・能動的な生活者になることを目指している。 (3) 日常生活に対する感受性と洞察力にすぐれ、豊かな想像力をもって他者との共生・協働をはかり、社会的弱者や文化的背景を異にする他者への共感をもつ。 (4) 社会のリーダーあるいは主体的生活者となるために、課題発見能力・問題解決能力・論理的思考力の開発に積極的に取り組む意欲をもつ。 (5) 各学科の教育理念に即したカリキュラムを真摯な姿勢で学び、学んだ成果を、専門職・企業人・公務員・教員等として積極的に地域や社会に還元したいという意欲をもつ。</p>
<p>住環境学科のディプロマポリシー 【学位授与の前提となる教育理念】 住環境学科では、学部全体で学生に習得させる能力に加え、住環境学に関する体系的なカリキュラムを通じて、日常的な生活から地球規模の問題に至るまでの多面的な観点から物事を考える能力と素養を身につけ、技術が社会や自然に及ぼす影響や効果や、技術者が社会に対して負っている責任を理解して、多様な環境と人間生活に対して種々の科学、技術および情報を利用して、社会の要求を解決するための能力を身につけた人材を養成することを教育の理念としています。</p>	<p>住環境学科のカリキュラムポリシー 【基本的なカリキュラム構造】 人間と人間をとりまく環境や、快適で健康的な生活環境を考察するための教養を身につける基礎的な科目を学修した後、住居や建築の成り立ちや、そこで営まれる人間の諸活動、住居や建築の構造や物理的環境、維持保全、計画と設計に関する知識と技能を学修する必修の専門科目を学び、その上で、それらの内容をより高度に学ぶ選択必修や選択科目を選んで学ぶことで専門性を高め、最後に生活および生活環境に関わる各自の問題意識にもとづいた卒業研究または卒業設計を通じて、総合的にそれらを身につけます。大学院に進学して更に研究を深めたいという意欲のある学生に対しては大学院開講科目の先取り履修を認める6年一貫教育プログラムも提供しています。</p>	<p>住環境学科の学習成果 (◎=学習成果を上げるために履修することが特に強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)</p>

<p>【身につけるべき「資質・能力」】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住環境学、建築学の専門的知識とそれらを問題解決に応用できる能力を身につけている。 ・論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力を身につけている。 ・与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力を身につけている。 ・チームで仕事をするための能力を身につけている。 ・数学および自然科学に関する知識とそれらを応用できる能力を身につけている。 		<p>【教育の内容と方法】</p> <p>生活、社会、環境について幅広く学ぶ講義系の科目に加え、各種情報を総合的に理解、分析、評価し、具体的な住居、建築、環境を計画できる能力や、立体的な造形能力、空間構成能力を養う設計演習系の科目と、建築技術に必要な数学、物理などの自然科学に関する知識や応用能力、情報処理に関する知識や技術を身につける演習科目もあり、高度な専門性を身につけることができます。</p>		<p>住環境学、建築学の専門的知識とそれらを問題解決に応用できる能力を身につける</p>	<p>論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力を身につける</p>	<p>与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力を身につける</p>	<p>チームで仕事をするための能力を身につけている</p>	<p>数学および自然科学に関する知識とそれらを応用できる能力を身につける</p>
カリキュラム								
科目番号	授業科目名	学習目標	対象学生	開講期				
	教養科目群：大学生生活入門・パサージュ	・高校までの学習とは異なる、大学ならではの学びとはどのようなものか理解する。 ・奈良女子大学の教員が行っている研究の最先端に触れ、学問の世界を体験する。	1回生以上		○			
	教養科目群：人間と文化	人間と文化に関する幅広い知識を体系的に理解する。 柔軟かつ論理的に思考する力を身に付ける。 自ら課題を発見する力を身に付ける。	1回生以上		○			
	教養科目群：生活と社会	生活と社会に関する幅広い知識を体系的に理解する。 柔軟かつ論理的に思考する力を身に付ける。 自ら課題を発見する力を身に付ける。	1回生以上		○			
	教養科目群：人間と自然	人間と自然に関する幅広い知識を体系的に理解する。 柔軟かつ論理的に思考する力を身に付ける。 自ら課題を発見する力を身に付ける。	1回生以上		○			
	教養科目群：グローバル教育科目	異なる文化や価値観に触れ、国際性の涵養と外国人とのコミュニケーションをとる力を身に付ける。	1回生以上		○			
	現代社会と職業	キャリア教育全体の基礎となる科目。働きつつ生きることの意味や、その舞台としての現代社会の仕組みを理解する。	1回生以上		○			
	外国語科目	ボーダーレス化、多極化する世界の中で、様々な情報源から現在を読み取り、そこでの自分の位置と進路を見定める力を身に付ける。 言語を通じて異文化への理解を深め、コミュニケーション能力を向上させる。	1回生以上		○			
	健康運動実習	・運動・スポーツの実践が健康の維持・増進に与える効用について理解する。 ・体力測定や各種調査の自己分析を通じて自らの身体への理解を深める。 ・仲間とのコミュニケーションをはかり、主体的に運動・スポーツにかかわる態度を身につける。	1回生以上		○			
	情報処理入門	・情報倫理と情報セキュリティの考え方を身につける ・様々な情報システムを安全かつ有効に使う方法を理解する	1回生以上		○			
3100001A1	生活環境学原論	・生活環境学とは何か、学問体系とその内容について理解する ・生活を取巻く自然・社会環境問題を把握する ・生きる哲学と生活科学について考える	1回生以上	後期	○			

3100002A2	育児学	①子どもの心身の成長、発達を知る。 ②子どもの病気や事故について学び、予防について考える。 ③子どもをとりまく生活環境について学び、より望ましい家庭のあり方について考える。 ④子育てをめぐる諸問題や児童福祉に関する行政施策や支援を学び、乳幼児期の保育のあり方について自らの考えを述べるができる。	2回生以上	前期	○				
3100004A1	家庭機械・家庭電気・情報処理	◎生活機器の作動原理、構造等を理解し、安全に利用できる(知識・理解、汎用的技能)。 ◎電気機器に必要な電気の基礎、構造、作用等を理解し、安全に利用できる(知識・理解、汎用的技能)。 ◎コンピュータの基本理論、機能を理解し、安全に利用できる(知識・理解、汎用的技能)。 以上の学習を通して、機器に使われるのではなく、機器を活用する能力・態度を身につける(知識・理解、汎用的技能、態度・志向性)。	1回生以上	後期	○				
3100006A1	食物科学概論	食物科学の基礎について、栄養学、食品学、調理学、微生物学、安全学等の観点から総合的に学ぶ(知識・理解)。	1回生以上	前期	○				
3100007D1	調理学実習(D)	実習を通して、以下の2つの目標達成を目指す。 ・食品とその調理性および栄養価に関する基礎的知識を習得できている(知識・理解)。 ・調理理論の実際と基本的技術、美味形成要因とその評価手法を習得できている(汎用的技能)。	1回生以上(食物栄養学科)	前期	○				
3100009D1	調理学実習(E)	基本的な調理操作と食品素材の調理特性について理解し(知識・理解)、中学・高等学校家庭科教員としての基本的スキルを獲得する(汎用的技能)。	1回生以上(食物栄養学科以外)	前期	○				
3100008D1	応用調理学実習(D)	献立作成およびその実習の具体的な実践を重ねることによって以下の目標達成を目指す。 ・食事設計に関して必要な知識・技術の向上と応用力・発展力を身につけている(知識・理解、汎用的技能)。	1回生以上(食物栄養学科)	後期	○				
3100010D1	応用調理学実習(E)	様々な場面における献立の組み方と調理操作の流れを理解する(汎用的技能)。また、食卓の整え方を学び、食文化について造詣を深める(知識・理解)。さらに生涯発達と食教育の観点から食生活を設計する姿勢を身につける(態度・志向性)。	1回生以上(食物栄養学科以外)	後期	○				
3100011A1	衣環境学概論	被服の素材、機能、染色、洗濯といった被服学の基本的内容から、新規繊維素材、機能性材料の開発に至るまで、被服学に関する最新の知識を習得する。また、中等家庭科被服学領域を担当する上で必要な衣生活に関する系統的な知識と応用能力を修得し、自ら健康で快適な衣生活を営むことができることを目指す。	1回生以上	後期	○				
3100012D1	被服学実習I(A)	①被服材料学・管理学・衛生学・意匠学・染色学についての実験・実習を行い、基礎知識を理解する。 ②実験結果から得られたデータをまとめ、実験内容に関わる知識や情報について調べる。 ③衣服について理解を深め、快適な衣生活を送るために必要な能力を身につける。	1回生以上(食物栄養学科)	前期	○				

3100014D1	被服学実習 I (B)	①人が装う意味と衣服の機能、その衣服の企画・設計・製作から流通に至るまでの仕組みを理解する。 ②人体形態と衣服の関係、その衣服の立体構成におけるデザイン・設計方法を理解する。 ③教材としての下衣（スカート）の製作から、衣服構成における縫製技法を学ぶ。 ④素材の特性とシルエット形成能の関係を知り、デザインに適した素材選定、取り扱い方法を理解する。 ⑤着装の効果を理解し、心豊かな衣生活創造に向けた知識と能力を習得する。	1回生以上 (生活健康・住環境)	前期	○					
3100016D1	被服学実習 I (C)	①被服材料学・管理学・衛生学・意匠学・染色学についての実験・実習を行い、基礎知識を理解する。 ②実験結果から得られたデータをまとめ、実験内容に関わる知識や情報について調べる。 ③衣服について理解を深め、快適な衣生活を送るために必要な能力を身につける。	1回生以上 (生活文化学科)	前期	○					
3100018D1	被服学実習 I (D)	①人体の形態と被服の関わりを理解する。 ②被服造形のための素材とデザインの基礎的知識を習得する。 ③立体構成の下衣（スカート）製作の基礎的理論を理解し、基礎的技法を習得する。 ④原型の製図とデザイン展開の理論と技法を習得する。	1回生以上 (衣環境学専攻)	前期	○					
3100013D1	被服学実習 II (A)	①人が装う意味と衣服の機能、その衣服の企画・設計・製作から流通に至るまでの仕組みを理解する。 ②人体形態と衣服の関係、その衣服の立体構成におけるデザイン・設計方法を理解する。 ③教材としての下衣（スカート）の製作から、衣服構成における縫製技法を学ぶ。 ④素材の特性とシルエット形成能の関係を知り、デザインに適した素材選定、取り扱い方法を理解する。 ⑤着装の効果を理解し、心豊かな衣生活創造に向けた知識と能力を習得する。	1回生以上 (食物栄養学科)	後期	○					
3100015D1	被服学実習 II (B)	①被服材料学・管理学・衛生学・意匠学・染色学についての実験・実習を行い、基礎知識を理解する。 ②実験結果から得られたデータをまとめ、実験内容に関わる知識や情報について調べる。 ③衣服について理解を深め、快適な衣生活を送るために必要な能力を身につける。	1回生以上 (生活健康・住環境)	後期	○					
3100017D1	被服学実習 II (C)	①人が装う意味と衣服の機能、その衣服の企画・設計・製作から流通に至るまでの仕組みを理解する。 ②人体形態と衣服の関係、その衣服の立体構成におけるデザイン・設計方法を理解する。 ③教材としての下衣（スカート）の製作から、衣服構成における縫製技法を学ぶ。 ④素材の特性とシルエット形成能の関係を知り、デザインに適した素材選定、取り扱い方法を理解する。 ⑤着装の効果を理解し、心豊かな衣生活創造に向けた知識と能力を習得する。	1回生以上 (生活文化学科)	後期	○					
3100019D1	被服学実習 II (D)	①上半身の形態と衣服との関わりを理解する。 ②立体構成の上衣の基礎的知識と製作技法を習得する。 ③上衣の原型とデザインに合わせた展開の技法を習得する。	1回生以上 (衣環境学専攻)	後期	○					

3100020A1	ジェンダー文化論	①ジェンダーのことばが意味するものを知る。 ②ジェンダーの視点から社会的な事象を見ることができるようになる。 ③ジェンダー以外にも、年齢、学歴、民族、宗教など、人を分類する基準は複数あることを知る。 ④リプロダクションには国家の利害や権力関係が明瞭に表れることを知る ⑤ジェンダーやセクシュアリティは、文化によって多様であることを知る。	1回生以上 (生活文化学科以外)	前期	○				
3100021A2	家族関係論	1. 家族関係の様々な側面・現象を、データや理論枠組みを通じて具体的に考える力をつける。 2. 家族関係に関する諸理論の基本的知識を身につけ、それぞれの長所と限界を考える。 3. 学問が明らかにする家族の性質、特徴、傾向などを知ること、自分自身の家族経験を相対化し、家族に関する科学的探究への意欲を高める。 4. 家族に関する問題の解決の道筋や、家族支援や政策のあり方を考えていくための基本的視点を身につける。	2回生以上 (生活文化学科以外)	前期	○				
3100022A2	生活経営学	生活経営の実態について理解し、さらに生活を営んでいくうえで直面する様々な課題に対して主体的に意思決定を行うことのできる能力を養うことを目標とする。	2回生以上 (生活文化学科以外)	前期集中	○				
3100023A1	住環境学概論	①住環境学に関する基礎的知識を学習する(知識・理解)。 ②住まい方や住まいの歴史について知識を深める(知識・理解)。 ③住まいおよび居住地の環境や防災、管理について知識を深める(知識・理解)。 ④住まいの計画手法を学習し、住居設計の基礎的技術を習得する(汎用的技能)。 (対応表) B-1: ◎、C-1: ○	1回生以上	前期	○				
3100024A1	心身健康学概論Ⅰ	身体の健康に関わる諸要因について理解する。生活における健康とは何かを理解し、国の施策、健康増進法や医事法規、生活習慣病や介護予防などについて幅広く健康に関連する事項について関心を喚起し、学ぶ意欲を高める。	1回生以上	前期	○				
3100025A1	心身健康学概論Ⅱ	心理学の成り立ちについて理解する。こころの健康に関わる諸要因について理解していくために必要となる心理学全般についての基礎的な知識、特に人のこころの基本的な仕組み及び働きを学ぶ。こころについて科学的に捉え、アプローチできるような基本的な態度を身につけることで、こころの健康の専門家としての基本的事項を身につけることをねらいとする。	1回生以上	前期	○				
3100026A1	心身健康学概論Ⅱ(心理学概論)	心理学の成り立ちについて理解する。こころの健康に関わる諸要因について理解していくために必要となる心理学全般についての基礎的な知識、特に人のこころの基本的な仕組み及び働きを学ぶ。こころについて科学的に捉え、アプローチできるような基本的な態度を身につけることで、こころの健康の専門家としての基本的事項を身につけることをねらいとする。	1回生以上	前期	○				
3240004A2	家族関係論	1. 家族関係の様々な側面・現象を、データや理論枠組みを通じて具体的に考える力をつける。 2. 家族関係に関する諸理論の基本的知識を身につけ、それぞれの長所と限界を考える。 3. 学問が明らかにする家族の性質、特徴、傾向などを知ること、自分自身の家族経験を相対化し、家族に関する科学的探究への意欲を高める。 4. 家族に関する問題の解決の道筋や、家族支援や政策のあり方を考えていくための基本的視点を身につける。	2回生以上 (生活文化学科以外)	前期	○				

3240005A2	生活経営学	生活経営の実態について理解し、さらに生活を営んでいくうえで直面する様々な課題に対して主体的に意思決定を行うことのできる能力を養うことを目標とする。	2回生以上 (生活文化 学科以外)	前期集中	○				
3240006A1	住環境学概論	①住環境学に関する基礎的知識を学習する(知識・理解)。 ②住まい方や住まいの歴史について知識を深める(知識・理解)。 ③住まいおよび居住地の環境や防災、管理について知識を深める(知識・理解)。 ④住まいの計画手法を学習し、住居設計の基礎的技術を習得する(汎用的技能)。 (対応表) B-1: ◎、C-1: ○	1回生以上	前期	◎				○
3241002A1	住生活学	①住宅建築の計画・設計の基盤になる考え方について、文化(生活様式)、社会、歴史(近代～現代)の文脈の中で理解する。(知識・理解) ②住生活と住空間の相互の対応関係について、基本的構造を理解する。(知識・理解) ③生活者の視点を重視した、住居計画・設計に対する見方とその素養を身につける。(汎用的技能) (対応表) C-1: ◎、C-2: ○、D-1: ○、D-3: ○	1回生以上	後期	◎		○		
3241003A1	建築・住居史	①世界の空間文化の基本的な性質を理解する。 ②日本の伝統的住居の空間構成や意匠の基本を理解する。 ③日本の伝統的建築の基本的な構成を覚える。 ④歴史的建造物の保存修復の基本的な考え方を理解する。 ⑤建築・住居・地域の歴史的特徴を読みとる視点を理解する。 (対応表) A-1: ○、C-1: ◎、D-1: ○	1回生以上	後期	◎				
3241004A2	建築・住宅論	① 建築・住宅における地域固有の形態とその背景を考察する歴史的方法を理解する。 ② 西洋建築の歴史的展開の概略を理解する。 ③ 西洋建築の各様式の基本を理解する。 ④ 歴史的建造物の保存・再生の現状とその問題点について理解する。 (対応表) A-1: ○、D-1: ◎、D-3: ○	2回生以上	前期	◎		○		
3241005D3	測量学実習	①測量の基礎的な理論を理解する。 ②各種測量法を体験して理解する。 ③実践的な建物実測の方法を身につける。 (対応表) A-1: ○、B-1: ○、C-2: ○、C-4: ◎	3回生以上	前期	◎		○		○
3241006A2	建築環境学	①都市・建築空間の環境計画と空間を構成する諸要素との関わりを理解する。 ②熱環境の基礎的事項お世に室内の熱環境計画・断熱性能の計算手法について学習する。 ③空気環境の基礎的事項及び換気計画・通風計画について学習する。 ④音環境の基礎的事項及び音響計画について学習する。 (対応表) C-2: ○、C-3: ◎、D-2: ○	2回生以上	後期	◎				
3241007D3	建築環境学実習	①室内環境および屋外環境の実態を体験的に理解する。 ②熱環境・空気環境の環境測定・数値予測方法を習得する。 ③室内環境に影響を及ぼす要因と影響度を考察する。 ④各基準値による環境評価手法を学習する。(対応表) C-2: ○、C-3: ◎、F-1: ○	3回生以上	後期集中	◎		○	○	

3241008E2	建築装備学 I	①視覚の心理生理的特徴と、視環境計画の要件を理解する。 ②光の量と照明計算の基礎を理解する。 ③照明計画に関する知識を習得する。 (対応表) C-1 : ○, C-2 : ○, C-3 : ○, D-2 : ◎	2回生以上	前期	◎				
3241009E2	建築装備学 II	①太陽と住生活との関わりを環境工学的観点から理解する。 ②日照・日射の検討方法を理解し、調整方法を習得する。 ③色覚および色彩に関する基礎知識を習得する。 ④色彩計画の基礎知識に基づいて、視環境を客観的に把握する力を身につける。 (対応表) B-2 : ○, C-2 : ○, C-3 : ◎, D-2 : ○, D-3 : ○	2回生以上	後期	◎		○		
3241010D3	建築装備学 実習	①環境要因としての物理量と人の知覚や主観評価の関係を理解する。 ②視力や色覚の環境による変化を理解する。 ③空間の明るさや標示物の見やすさの実態とその原因を理解する。 ④光・色彩の明るさ感、明視性、雰囲気への影響について理解する。 (対応表) C-2 : ○, C-3 : ◎, F-1 : ○	3回生以上	後期集中	◎		○	○	
3241011A2	空間デザイン学	①設計の考え方を身につける。 ②20世紀の主要建築作品と思想を社会的な背景とともに知る。 ③建築の設計手法を身につける。 ④建築家の思想を知る。 (対応表) C-1 : ○, C-2 : ◎, C-4 : ○, D-3 : ○	2回生以上	前期	◎		○		
3241012A3	住居デザイン学	1 建築設計の考え方を身につける。 2 住居という概念を理解する。 3 建築を成り立たせている各部位の意味を理解する。 4 建築を成り立たせている各部位の設計手法を知る。 (対応表) C-1 : ○, C-3 : ○, C-4 : ◎, E-1 : ○, E-2 : ○	3回生以上	後期	◎	○	○		
3241013A1	建築材料学	①木材および木質材料について、種類や基本的な物性、力学的な性質および耐久性を理解する。(知識・理解) ②鋼材、コンクリートなどについて、種類や基本的な物性、力学的な性質および耐久性を理解する。(知識・理解) ③部位別に建築材料に求められる性能を論理的に考える。(汎用的技能) ④建築材料の適材適所な使い方を論理的に考える。(汎用的技能) (対応表) C-1 : ○, C-2 : ○, C-3 : ○, D-2 : ◎	1回生以上	後期	◎				
3241014D3	建築材料学 実習	①土でつくる建築の特性、材料の性質を把握する(汎用的技能) ②施工方法を理解し、事前につくり方を想像できる力を養う。(汎用的技能) ③観察結果および測定結果を的確に表現する方法を習得する。(態度・志向性) ④観察結果および測定結果から、その要因と使用環境や維持管理とのかかわりを考察する力をつける。(態度・志向性) (対応表) A-1 : ○, A-2 : ○, B-2 : ○, C-3 : ○, D-2 : ◎, D-3 : ○	3回生以上	後期集中	◎		○		
3241015A2	住居管理学	①住まいの劣化の実態およびその原因を理解する。(知識・理解) ②住まいの手入れや点検、修繕などの維持管理と住宅の耐久性とのかかわりを論理的に考える。(汎用的技能) ③住居管理にかかわる諸制度を理解する。(知識・理解) ④循環型社会における住居管理の役割を論理的に考える。(汎用的技能) (対応表) C-2 : ○, C-3 : ○, D-2 : ◎	2回生以上	前期	◎				

3241016A3	住居管理学 (応用編)	①住居管理にかかわる社会的背景を理解する。(知識・理解) ②住居管理の現状を把握する。(知識・理解) ③現代社会における住居管理の意義および課題を論理的に考える。(汎用的技能) ④住宅の社会的管理について論理的に考える。(汎用的技能) (対応表) C-3 : ○, D-2 : ○, D-3 : ◎	3回生以上	前期	◎		○		
3241017D2	住居管理学 実習Ⅰ	①木材の耐候性および劣化診断、内装壁材の耐汚染性、室内塵中のダニの分離について、それぞれの観察、測定方法を理解する。(汎用的技能) ②観察結果および測定結果を的確に表現する方法を習得する。(汎用的技能) ③観察結果および測定結果から、その要因と使用環境や維持管理とのかかわりを考察する力をつける。(態度・志向性) (対応表) C-1 : ○, C-2 : ○, C-3 : ◎, F-1 : ○	2回生以上	後期集中	◎		○	○	
3241018D3	住居管理学 実習Ⅱ	①木製外構材の耐候性について、観察および測定方法を理解する。(汎用的技能) ②内装仕上げ材の吸放湿性および耐汚染性について、観察および測定方法を理解する。(汎用的技能) ③観察結果および測定結果を的確に表現する方法を習得する。(態度・志向性) ④観察結果および測定結果から、その要因と使用環境や維持管理とのかかわりを考察する力をつける。(態度・志向性) (対応表) C-1 : ○, C-2 : ○, C-3 : ◎, F-1 : ○	3回生以上	後期集中	◎		○	○	
3241019A2	建築計画学	①建築計画の基本的概念を理解する。(知識・理解) ②寸法の単位、寸法のシステムなど寸法に関する基礎的概念・知識を習得する。(知識・理解) ③人間の心理・行動と空間との関連について理解する。(汎用的技能) ④建築・住居の安全性に関する基本的な考え方や技術者の社会的責務を理解する。(汎用的技能) ⑤集合住宅計画の基本を習得する。(知識・理解) (対応表) C-1 : ◎, C-2 : ○, C-4 : ○	2回生以上	前期	◎		○		
3241020A2	住環境計画学	①近年の家族やライフスタイルの変化による居住ニーズの変容を理解する。(知識・理解) ②居住ニーズの変化がもたらす集合住宅の変化の諸相を理解する。(知識・理解) ③「お仕着せ」の住まいから個々の居住者のニーズに適合した住まいづくりのあり方を考え、理解する。(汎用的技能) ④建物の耐久性や地球環境問題を踏まえた住宅の供給方式や住宅ストックの再生手法を理解する。(汎用的技能) (対応表) B-1 : ○, C-2 : ○, C-4 : ○, D-1 : ◎	2回生以上	後期	◎		○		
3241021A3	生活空間解析学Ⅰ	①空間・場所・なわばり・モノなど様々な人間を取り巻く環境の普遍性と多様性について理解する。(知識・理解) ②人間の行動・知覚と空間の関係について、主要な知識や理論を知る。(知識・理解) ③住まいや建築物とアクティビティの関わりについて具体的な事例を知り、生活空間を計画するための実践的な知識を身につける。(問題解決力) (対応表) A-1 : ○, B-1 : ○, C-1 : ◎, D-1 : ○	3回生以上	前期	◎				○

3241022A3	生活空間解析学Ⅱ	①人間の行動や活動と構築環境の相互作用によって、建築空間、生活空間、都市空間が形成される事例について理解する。(知識・理解) ②建築・外部空間および居住地・都市空間に関する現代的な潮流、代表的な論考を知る。(知識・理解) ③以上の知識を基に、建築・外部空間と地域・都市空間相互の有機的関連性について論理的に考え、諸空間の計画立案に応用することができる。(論理的思考力、問題解決力) (対応表) A-1:○, B-1:○, C-2:○, C-4:◎	3回生以上	後期	◎					○
3241024A3	都市計画学	(1) 日本の都市計画の概略を理解する (2) 日本の都市計画の現状・課題を考える (3) 用途地域制、市街地再開発事業、土地区画整理事業、地区計画、居住地の計画、公園計画、景観計画など都市計画の基本を理解する (4) 諸外国の都市計画との違いに関心を持つ (対応表) C-1:○, C-2:◎, D-1:○	3回生以上	前期	◎					
3241025A2	地域居住学	(1) 少子化社会にふさわしいまちづくりについて理解する。 (2) 高齢化社会にふさわしいまちづくりについて理解する。 (3) 商店街の現状と課題について理解する。 (4) 農山村の状況と課題について理解する。 (5) 空き家対策の現状と課題を理解する。 (対応表) B-2:○, D-1:◎, D-3:○	2回生以上	後期	◎			○		
3241026A2	緑地環境計画論	①緑地環境の計画の歴史的な展開過程に関する知識を習得する ②緑地環境の計画理論とその実践的な方法に関する基礎知識を習得する ③緑地環境の創造と管理を支える技術に関する基礎知識を習得する ④緑地環境の自然科学的な側面に関する基礎知識を習得する (対応表) B-1:○, B-2:○, C-2:◎, C-4:○	2回生以上	後期	◎			○		○
3241027A3	ランドスケープ・デザイン論	① ランドスケープデザインの歴史的展開に関する基礎知識を習得する ② ランドスケープデザインの基礎的理論と応用事例の知識を習得する ③ ランドスケープデザインの対象と方法に関する実践的知識を習得する ④ ランドスケープデザインの批評に必要な視点に関する知識を習得する ⑤ 建築等関連する諸分野とのコラボレーションに必要な知識を習得する (対応表) B-1:○, B-2:○, C-2:◎, C-4:○	3回生以上	前期	◎			○		○
3241023A3	福祉住環境学	・高齢者・障害者の生活の視点から、住環境の果たす役割と意味を理解する。(知識・理解) ・高齢者・障害者の生活を改善するための具体的な住環境整備手法について理解する。(汎用的技能) ・最新の高齢者・障害者施設の理念と設計方法について理解する。(汎用的技能) (対応表) C-1:○, C-2:◎, D-3:○	3回生以上	前期	◎			○		
3241029D1	住環境造形実習	1. 基礎的な造形能力を習得する(汎用的技能)。 2. 基礎的な表現技術を習得する(汎用的技能)。 3. 設計製図の基礎的な知識と技能を習得する(知識・理解、汎用的技能)。 (対応表) E-1:○, E-2:◎, F-1:○, F-3:○	1回生以上	後期	◎	◎		○	○	

3241030B2	設計演習Ⅰ	1 設計の基本的な考え方を習得する 2 建築構成要素の基本的な寸法、各部位・部材の名称を知り、構造についての理解を深める。 3 空間設計の基礎的知識と技術を習得する。 4 図面による表現力を習得する。 (対応表) C-4:○, D-3:○, E-1:○, E-2:◎, F-3:○	2回生以上	前期	◎	○	○		
3241031B2	設計演習Ⅱ	①住戸と周辺環境の関係に関する洞察力を養う。 ②公共オープンスペースの設計に関する基礎的知識と技術を習得する。 ③小規模な公共建築の設計に関する基礎的知識と技術を習得する。 ④模型・図面等ビジュアルプレゼンテーションの知識と技術を習得する。 (対応表) D-1:○, D-2:◎, D-3:◎, E-1:◎, E-2:◎, F-1:○	2回生以上	後期	◎	○	○	○	
3241032B3	設計演習Ⅲ	1 プログラムの提案能力を養う。 2 表象としての建築について考察する。 3 総合的なビジュアルプレゼンテーション技術を習得する。 (対応表) C-4:◎, E-1:◎, E-2:◎, F-2:◎, F-3:◎	3回生以上	前期	◎	◎	○	◎	
3241033B3	設計演習Ⅳ	①福祉施設に関する建築計画の知識を習得する。 ②住宅地域に関する都市計画、ランドスケープデザインの知識を習得する。 ③地域社会と公共空間の関係を考察し、空間的に取扱う技術を習得する。 ④一定規模の空間造形能力を習得する。 ⑤ビジュアルプレゼンテーション技術を習得する。 (対応表) D-3:◎, E-1:◎, E-2:○, F-1:◎, F-2:○, F-3:◎	3回生以上	後期	○	○	◎	○	
3241034B4	設計演習Ⅴ	①歴史的都市空間を対象とした保存修景技術の基礎を習得する。 ②ランドスケープと建築の関係に関わる、設計技術の基礎を習得する。 ③自然環境のしくみと保全・活用にかかわる基礎的技術を習得する。 ④宿泊施設の空間構成と空間意匠さらにインテリアに関する設計技術の基礎を習得する。 ⑤高度なプレゼンテーション技術を習得する。 (対応表) E-1:◎, E-2:◎, F-1:◎, F-2:◎, F-3:◎	4回生	前期	○	◎	◎	○	
3241035A1	建築一般構造学	(1) 建築物の構造形式の分類とその特徴について理解する。 (2) 木質構造の力学原理と概要について理解する。 (3) 鋼構造の力学原理と概要について理解する。 (4) 鉄筋コンクリート構造の力学原理と概要について理解する。 (5) 地盤と建築基礎構造の役割について理解する。 (対応表) C-1:○, C-2:○, C-3:◎, D-2:○	1回生以上	前期	◎				
3241036E3	建築構造力学・材料力学演習	(1) 梁・トラス・ラーメンの力学原理と解法について理解する。 (2) 断面の性質ならびに応力とひずみについて理解する。 (3) 構造部材の弾性変性ならびに非静定梁の解法について理解する。 (4) 材料実験法と実験データの処理手法について理解する。 (5) 軽量材の物理実験を行い、部材の曲げ変形性状、座屈や振動現象について理解を深める。 (対応表) C-1:○, C-3:◎, D-2:○, F-1:○	3回生以上	前期	◎		○	○	◎

3241038A2	木造建築構造学	(1) 木造建築物の構造力学的・構造材料の特徴について理解する。 (2) 木造建築物の構造計画と耐震設計の基礎的事項を理解する。 (3) 木造建築物の耐震診断、耐震補強計画の概要について理解する。 (4) 伝統的木造建築物の保存・修復・復元技術について理解する。 (対応表) C-1 : ○, C-3 : ◎, D-2 : ○	2回生以上	後期	◎				
3241039D3	建築構造学実習	(1) 振動理論の概略を理解する。 (2) 常時微動計測の概略について理解する。 (3) 限界耐力計算を用いた耐震設計法について理解する。 (4) 地震応答解析について理解する。 (対応表) C-1 : ○, C-3 : ◎, D-2 : ○	3回生以上	後期集中	◎		○		◎
3241040D3	住環境工学実習	①室内環境および屋外環境の実態を体験的に理解する。 ②熱環境・空気環境・音環境・光環境・色彩環境・採光環境の環境測定方法を習得する。 ③室内環境に影響を及ぼす要因と影響度を考察する。 ④各基準値による環境評価手法を学習する。 (対応表) C-2 : ○, C-3 : ◎, D-2 : ○	3回生以上	前期	◎				
3241065A4	不静定構造力学	(1) 不静定構造物について理解する。 (2) ひずみエネルギーと仮想仕事の原理、カステリアーノの定理について理解する。 (3) たわみ角法、固定モーメント法について理解する。 (4) マトリクス変位法について理解する。	4回生以上	前期	◎				
3241066E4	不静定構造力学演習	(1) 不静定構造物について理解する。 (2) ひずみエネルギーと仮想仕事の原理、カステリアーノの定理について理解する。 (3) たわみ角法、固定モーメント法について理解する。 (4) マトリクス変位法について理解する。	4回生以上	前期	◎				
3241067A4	建築振動論	(1) 建築物の動的設計について理解する。 (2) 建築物の振動理論について理解する。 (3) 建築物の地震応答解析について理解する。	3回生以上	後期	◎				
3241041A2	住環境法規	① 住宅、建築物に関する法規の体系を理解する。 ② 建築基準法、都市計画法の主要な条文の内容を理解するとともに、その他の住宅、建築物の質の向上に関する法規についての基礎的知識を習得する。 ③ ①、②を通して、住宅、建築物に係わる技術者が負っている社会的責任を理解する。 (対応表) B-2 : ○, C-1 : ○, C-3 : ○, D-1 : ◎, D-3 : ○	2回生以上	後期	◎		○		
3241042A1	住環境学の技術者倫理	①住環境の各分野で倫理をめぐり、どのようなことが問題になっているかを学ぶ(態度・志向性)。 ②住環境の技術者に求められる倫理を総合的に把握する(態度・志向性)。 ③住環境技術者倫理に対して、自分なりの意見をもてるようになる(汎用的技能)。 ④倫理という点から、卒業までにどのような学習をすべきかがわかるようになる(知識・理解)。 (対応表) B-2 : ○, C-2 : ◎	1回生以上	後期	◎				
3241043A3	建築設備学	①空気調和設備、給排水設備、衛生設備、換気設備、電気設備の基本的な知識を身につける。 ②冷暖房負荷の概要と具体的な算定方法に関する知識を身につける。 ③エネルギーの有効利用と熱源システムの概要に関する知識を身につける。 (対応表) C-2 : ○, C-3 : ◎, D-2 : ○	3回生以上	前期	◎				

3241044A3	インテリアデザイン	①空間デザインの様々な事例や考え方、思考の組み立て方、表現手法を知る。 ②人間および社会的諸活動と空間との相互関係を理解する。 ③インテリアデザインに関する専門的知識を習得して、その体系を理解するとともに、その応用力を養い創造的思考力・表現力を身につける。 (対応表) C-4: ○, D-3: ○, E-1: ◎	3回生以上	前期	◎	○	○		
3241045B2	CAD演習	①情報処理のための基礎的知識・技術を習得する。(知識・理解) ②CADの特性を理解し、種々の操作方法を修得する。(汎用的技能) ③建築図面の理解を深め、図面の表現力を身につける。(汎用的技能) ④演習を通して主体的・継続的に課題に取り組む力を養う。(態度・志向性) (対応表) A-3: ◎, F-1: ○, F-3: ○	2回生以上	後期集中		○	○	○	◎
3241046B3	デジタルデザイン演習	①立体造形能力を高め、建築の構造についての理解を深める。(汎用的技能) ②3次元CADの操作およびビジュアル・プレゼンテーションの技術を習得する。(汎用的技能) (対応表) A-3: ◎, C-3: ○, F-3: ○	3回生以上	前期集中	○	○	○		◎
3241047A2	建築施工学	①建築生産のしくみ、流れの概要を理解し、建築生産計画、建築積算と管理、各工事の施工技術及び管理技術等建築施工に関する基礎知識を理解する。 ②建築施工が社会や地域環境に及ぼす影響を考慮した、施工計画の立案や管理手法に関する専門的知識を、講義のみならず作業所における実際の取り組みも見学することにより幅広く知識を習得する。 ③技術者倫理のあり方を理解し、建築技術者としての使命と責任を理解する。 (対応表) C-2: ○, C-3: ◎, D-2: ○	2回生以上	後期集中	◎				
3241049B1	建築図学	建築立体図法に関する知識とその専門的スキルを獲得する(知識・理解)ことにより、空間的・立体的な構成力と理論的・合理的な思考力を身につける。(汎用的スキル) (対応表) E-1: ○, E-2: ◎, F-3: ○	1回生以上	前期	○	◎	○		
3241050D2	住環境デザイン基礎	デザインの基礎的スキルを身につける(汎用的スキル) 自己が持つ表現の可能性を探るべく思考とビジュアル成果を獲得する。(総合的創造性) グループワークに積極的に参加する(態度・志向性) (対応表) E-2: ○, F-1: ○, F-3: ◎	2回生以上	後期	○	◎	○	○	
3241051B1	空間計画のための物理環境科学演習 I	①空気、熱、物質の移動・拡散の問題を物理・数学を用いて考えるための基礎知識を習得する。 ②構造解析の基礎となる物理数学に関する理解を深める。 ③感覚量の表示手段としての対数関数・指数関数の基礎知識を習得する。 ④大きさや空間位置の表示手段としての幾何学および三角関数の基礎知識を習得する。 ⑤調査情報や測定データを解析するための基礎知識を習得する。 ⑥代表値の表示手段としての統計の基礎知識を習得する。 (対応表) A-2: ◎, B-1: ○	1回生以上	後期	○				◎

3241052B1	空間計画のための物理環境科学演習	①空気、熱、物質の移動・拡散の問題を物理・数学を用いて考えるための基礎知識を習得する。 ②構造解析の基礎となる物理数学に関する理解を深める。 ③感覚量の表示手段としての対数関数・指数関数の基礎知識を習得する。 ④大きさや空間位置の表示手段としての幾何学および三角関数の基礎知識を習得する。 ⑤調査情報や測定データを解析するための基礎知識を習得する。 ⑥代表値の表示手段としての統計の基礎知識を習得する。 (対応表) A-2: ◎, B-1: ○	1回生以上	後期	○					◎
3241054D3	住環境学学外実習(インターンシップ)	①職場で実際に仕事を体験する(知識・理解)。 ②仕事の内容をレポートとしてまとめる。 ③どのような職種、職場があるかを知る(知識・理解)。 ④どのような職種、職場が自分に向いているかを考える(態度・志向性)。 ⑤企業の社会的役割、技術者のあり方等を体験を通じて学ぶ(態度・志向性)。 (対応表) A-1: ○, B-1: ○, C-2: ○, C-4: ◎	3回生以上(住環境学科)	集中	◎		○			○
3241055D3	住環境学学外実習1(インターンシップ)	①職場で実際に仕事を体験する(知識・理解)。 ②仕事の内容をレポートとしてまとめる。 ③どのような職種、職場があるかを知る(知識・理解)。 ④どのような職種、職場が自分に向いているかを考える(態度・志向性)。 ⑤企業の社会的役割、技術者のあり方等を体験を通じて学ぶ(態度・志向性)。 (対応表) A-1: ○, B-1: ○, C-2: ○, C-4: ◎	3回生以上(住環境学科)	集中	◎		○			○
3241056D3	住環境学学外実習2(インターンシップ)	①職場で実際に仕事を体験する(知識・理解)。 ②仕事の内容をレポートとしてまとめる。 ③どのような職種、職場があるかを知る(知識・理解)。 ④どのような職種、職場が自分に向いているかを考える(態度・志向性)。 ⑤企業の社会的役割、技術者のあり方等を体験を通じて学ぶ(態度・志向性)。 (対応表) A-1: ○, B-1: ○, C-2: ○, C-4: ◎	3回生以上(住環境学科)	集中	◎		○			○
3241057B3	住環境学学外演習(合宿演習)	1) 実際の空間を体験する。 2) 構想と現実の関係を知る。 3) 実践的情報収集能力を身につける。 (対応表) B-1: ○, C-2: ○, C-4: ○, E-1: ◎	3回生以上	集中	◎	○	○			○
3241058B1	住環境学フィールド演習Ⅲ	(1) まちで実施されるイベントの企画・運営に携わり、まちづくりイベントのノウハウを学ぶ。 (2) 地元市民と共同でイベントを実施し、市民と共同する方法を学ぶ。 (3) 商店街の現状を学ぶ。 (4) 企画を立案・実施し、それに参加した市民の反応を調査することで、まちづくりイベントの評価方法を学ぶ。 (対応表) F-2: ◎, F-3: ○	1回生以上(住環境学科)	前期集中		○	◎	◎		
3241059B1	住環境学フィールド演習Ⅳ	材料についての基礎的知識を得る。素材の基礎的加工技術を習得する。素材を生かした工作物のデザインを学ぶ。 (対応表) E-1: ○, F-1: ○, F-2: ◎, F-3: ○	1回生以上	集中	○	○	◎	◎		

3241060D3	住環境学基礎実習	①情報収集・整理に関する基礎的な能力を身につける。 ②問題の多角的解決能力と望ましい方策を提案する能力を身につける。 ③基礎的なデザイン能力を身につける。 ④実験・調査に必要な研究計画力や分析能力を身につける。 ⑤他領域の専門家や地域住民と協力して作業する能力を身につける。 (対応表) C-4: ◎, D-1: ○, D-3: ○, E-1: ○, F-1: ○, F-2: ○, F-3: ○	3回生以上	後期集中	◎	○	○	○	
3241061F4	卒業研究Ⅰ(論文)	①住環境学に関わる問題の多面的解決力と望ましい方策を提案する能力を身につける。 ②研究課題に継続的に取り組む力を身につける。 ③他領域の専門家や地域住民と協力して作業する能力を身につける。 ④成果発表のためのコミュニケーション、プレゼンテーション能力を身につける。 (対応表) D-3: ◎, E-1: ○, F-1: ◎, F-2: ○	4回生(住環境学科)	前期	○	○	◎	◎	
3241062F4	卒業研究Ⅰ(設計)	①住環境計画・設計に必要なデザインの能力を身につける。 ②住環境計画・設計に必要な立体的な造形能力、空間構成能力を身につける。 ③課題に継続的に取り組む力を身につける。 ④他領域の専門家や地域住民と協力して作業する能力を身につける。 ⑤成果発表のためのコミュニケーション、プレゼンテーション能力を身につける。 (対応表) E-1: ○, E-2: ◎, F-1: ◎, F-2: ○, F-3: ○	4回生(住環境学科)	前期	○	○	◎	◎	
3241063F4	卒業研究Ⅱ(論文)	①住環境学に関わる問題の多面的解決力と望ましい方策を提案する能力を身につける。 ②研究課題に継続的に取り組む力を身につける。 ③他領域の専門家や地域住民と協力して作業する能力を身につける。 ④成果発表のためのコミュニケーション、プレゼンテーション能力を身につける。 (対応表) D-3: ◎, E-1: ○, F-1: ◎, F-2: ○, F-3: ○	4回生(住環境学科)	後期	○	○	◎	○	
3241064F4	卒業研究Ⅱ(設計)	①住環境計画・設計に必要なデザインの能力を身につける。 ②住環境計画・設計に必要な立体的な造形能力、空間構成能力を身につける。 ③課題に継続的に取り組む力を身につける。 ④他領域の専門家や地域住民と協力して作業する能力を身につける。 ⑤成果発表のためのコミュニケーション、プレゼンテーション能力を身につける。 (対応表) E-1: ○, E-2: ◎, F-1: ◎, F-2: ○, F-3: ○	4回生(住環境学科)	後期	○	○	◎	○	